

**第 I 回日本 DCD 研究会  
(ウェブサイト用抜粋記録)**

学会テーマ 発達性協調運動障害の子どもたちの未来のために  
会期 2016 年 4 月 10 日 (日曜日)  
会場 愛知県産業労働センター ウィンクあいち

責任者 辻井正次 (中京大学現代社会学部)  
研究会発起人 岩永竜一郎 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)  
北 洋輔 (国立精神・神経医療研究センター)  
澤江幸則 (筑波大学体育系)  
辻井正次 (中京大学現代社会学部)  
中井昭夫 (兵庫県立リハビリテーション中央病院)  
七木田敦 (広島大学大学院教育学研究科)  
増田貴人 (弘前大学人文社会・教育学系)  
宮地泰士 (名古屋市西部地域療育センター)  
平田正吾 (茨城キリスト教大学文学部) (50 音順)

大会事務局 NPO 法人アスペ・エルデの会  
担当：辻井・因幡 連絡先：tsujii@as-japan.jp

## 研究会趣旨

「不器用な」子どもたちへの支援が重要であることは、医療・療育、保育・教育、子育て支援・福祉など様々な現場で知られるようになってきています。しかし、わが国ではこれまでにこのような「不器用な」子どもたち：発達性協調運動障害（Developmental Coordination Disorders ; DCD）への正しい理解と支援、研究が立ち遅れてきました。このような状況を受け、今回、わが国における DCD の子どもたちへの支援の充実を実現していくために、DCD に関わる専門家たちで研究知見を集積し、支援手法を発信していく日本 DCD 研究会を立ち上げました。

記念すべき第 1 回大会を名古屋で開催いたします。第 1 回大会では、DCD の概念をよりよく理解し、世界的な研究動向を知り、さらに、DCD の子どもたちへの支援のためのアセスメントツールの実習を通じて活用できるようにする実践的な企画としました。また DCD 研究の世界的権威である Dr. Sheila Henderson をお招きする予定です。ご関心のある皆様に多数ご参加いただけましたら幸いです。

日本 DCD 研究会発起人 一同

## 研究会プログラム概要

### 基調講演

Sheila Henderson (University of London)

### 研究報告

1. DCD 研究の動向
2. DCD のアセスメント方法 ; Movement-ABC2 について

### ワークショップ

1. JMAP(日本版ミラー幼児発達スクリーニング検査)・感覚プロファイル
2. Vineland-II 適応行動尺度・DCDQ